

高齢者の色彩と図柄の好み（4）－性別特性－

今井弥生* ○井澤尚子* 長塚こずえ** 棕梨純枝*³ 青木迪佳*⁴ 天羽教子*⁵
 (*東京家政学院短大 **東京家政大 *³宇部短大 *⁴長崎県立女子短大
 *⁵愛知女子短大)

目的 第1報～3報では、65歳以上の健康な男女を対象として黒白図柄の嗜好を調査、解析、報告した。

本報は同じ図柄を用い、赤（5.2R4.6/10.6）、黄（3.7Y7.8/10.5）、緑（4.4G5.7/8.0）、青（6.9B5.8/10.7）、紫（0.1P5.6/5.8）の5色、125図柄を試料とし、性別嗜好特性を明らかにした。

方法 被験者：1976人、調査時期：1998年9月1日～30日、調査方法：質問紙法面接調査、観察：JIS Z 8723、場所：全国都道府県の敬老館、老人クラブ、在宅ほか、分析：各色の嗜好頻度の集計、クロス集計、嗜好率と相関

フェースシート

性別	人数	65～74	75以上	職有	無	未婚	既婚	1人	夫婦	同居	一戸建	集合
男	626	401	225	138	488	9	617	51	301	274	505	121
女	1350	774	576	112	1238	56	1294	304	366	680	1013	337
計	1976	1175	801	250	1726	65	1911	355	667	954	1518	458

結果 各々の嗜好1位は赤図柄では男女共S青海波。黄は男がS青海波、女はP木の葉。緑は男女共P木の葉。青は男がS青海波、女はP木の葉。紫は男女共S青海波であった。図柄のもつイメージには色彩が影響している。125図柄の男女間の相関は0.73と高い。これは特定の図柄に嗜好が集中しているためである。そして、男はH子持ち縞を好む特性がみられ、幾何学文様の嗜好に性差が認められた。